

# プロフィール

2021年9月末日現在

## FFG ふくおかフィナンシャルグループ

設立日 平成19年4月2日  
本社所在地 福岡市中央区大手門一丁目8番3号  
資本金 1,247億円  
従業員数 8,105人  
電話(代表) 092-723-2500  
URL <https://www.fukuoka-fg.com/>

連結子会社	26社
格付情報	
A+	R&I 発行体格付
A	JCR 長期発行体 格付

## 福岡銀行

設立日 昭和20年3月31日  
本店所在地 福岡市中央区天神二丁目13番1号  
資本金 823億円  
従業員数 3,618人  
本支店数 166(福岡県内148)  
電話(代表) 092-723-2131  
URL <https://www.fukuokabank.co.jp/>

貸出金	11.1 兆円
預金量	12.6 兆円
格付	AA-*1 A+*2 A3*3

## 熊本銀行

設立日 昭和4年1月19日  
本店所在地 熊本市中央区水前寺六丁目29番20号  
資本金 100億円  
従業員数 849人  
本支店数 69(熊本県内62)  
電話(代表) 096-385-1111  
URL <https://www.kumamotobank.co.jp/>

貸出金	1.8 兆円
預金量	1.6 兆円
格付	A+*1 A+*2

## 十八親和銀行

設立日 昭和14年9月1日  
本店所在地 長崎市銅座町1番11号  
資本金 368億円  
従業員数 2,243人  
本支店数 179(長崎県内155)  
電話(代表) 095-824-1818  
URL <https://www.18shinwabank.co.jp/>

貸出金	3.9 兆円
預金量	5.5 兆円
格付	A+*1 A+*2

\*1 R&I 発行体格付 \*2 JCR 長期発行体格付 \*3 Moody's 長期預金格付

●海外拠点数(福岡銀行海外駐在員事務所):8

(香港、上海、大連、ニューヨーク、シンガポール、バンコク、台北、ホーチミン)

## 「FFG統合報告書2021」を 発刊しました



当社グループの経営ビジョンやその実現に向けた成長戦略、サステナビリティの取り組みをまとめた「FFG統合報告書2021」を作成・発刊いたしました。当社グループをより深くご理解いただくための参考になれば幸いです。

FFG統合報告書2021

検索



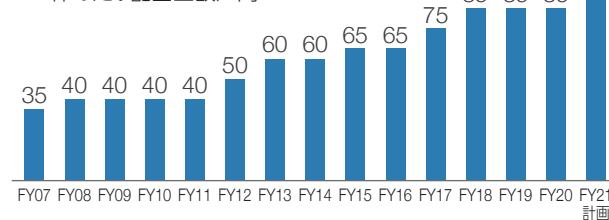
●当社グループホームページに掲載しています

[https://www.fukuoka-fg.com/investorimage/ir\\_pdf/tougou/202110/all.pdf](https://www.fukuoka-fg.com/investorimage/ir_pdf/tougou/202110/all.pdf)

## 株主還元の充実

FFGでは、企業価値を高めることで株主価値の向上を図ることを基本とし、業績連動型の配当方針(配当テーブル)を採用しています。健全性の維持と成長投資のバランスを考慮し、配当テーブルは、配当性向35%程度を目安に設定しており、安定的な利益還元を目指しています。

■1株あたり配当金額/円



\* 2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で併合いたしました。  
上記の数値は、2018年9月以前の配当金を株式併合後の金額に引き直して計算しております。

商号等	株式会社福岡銀行(登録金融機関) 福岡財務支局長(登金)第7号	株式会社熊本銀行(登録金融機関) 九州財務支局長(登金)第6号
加入協会	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会	日本証券業協会
商号等	株式会社十八親和銀行(登録金融機関) 福岡財務支局長(登金)第3号	FFG証券株式会社(金融商品取引業者) 福岡財務支局長(金商)第5号
加入協会	日本証券業協会	日本証券業協会 第二種金融商品取引業協会

●発行-2021年12月 ●編集-株式会社ふくおかフィナンシャルグループ 経営企画部  
〒810-8693 福岡市中央区大手門1-8-3 TEL(092)723-2500(代表)

# FUKUOKA FINANCIAL GROUP

FFG中間期ディスクロージャー誌2021  
あなたのいちばんに。編

# ごあいさつ



ふくおかフィナンシャルグループ  
取締役会長兼社長  
柴戸 隆成

皆さまには平素より格別のお引き立てをいただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症が確認されてから約2年が経過しました。コロナ禍は単なる感染症としての問題に留まらず、「デジタル化、サステナビリティ、働き方」など、さまざまな面において従来なら数年かけて起きたであろう変化を短期間の間にもたらしています。私たちは資金繰り支援に留まらないお取引先の事業全体のサポート、本業支援に積極的に取り組んでいます。

このような環境下、2021年度中間期は、資金利益・役務利益の増加を主因としてコア業務純益、親会社株主に帰属する中間純利益ともに増益となりました。

今年度は2019年度にスタートした第6次中期経営計画の最終年度です。「業務改革」「十八親和銀行合併」などの各施策は順調に進捗しており、今年5月お客さま向けにサービスを開始した国内初のデジタルバンク「みんなの銀行」は口座数が12月上旬現在で19万件を超え、好調なスタートを切りました。

下半期は「今中計の総仕上げ」とともに「新事業領域への挑戦をはじめとした成長戦略の構築」など、持続的な成長に向けてグループ役職員一丸となって、全力で取り組んでまいります。


皆さまには、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

# TOPICS

投信のパレット  
サービス残高

**1,607億円**


お申込者数:31,722人  
(2021年11月末時点)



みんなの銀行  
口座数

**19万口座**

(2021年12月上旬時点)



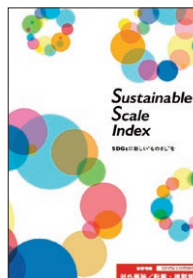
## 「出島メッセ長崎」こけら落としイベント

長崎市が「交流の産業化」を目指して11月に開業した初の本格的コンベンション施設「出島メッセ長崎」のこけら落としイベントを、3日間にわたり開催しました。銀行主体の商談会や講演会に加え、地場企業と協力して、マルシェ、ライブ、職業体験、未来体感といった市民系イベントを組み合わせ、長崎の未来を体感していただきました。



## 法人向けSDGs支援

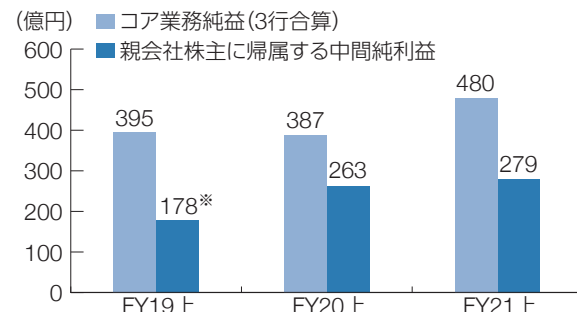
お客さまのSDGsへの取り組みをサポートするため、九州大学と共同開発したSDGs/ESGスコアリングモデル「Sustainable Scale Index」の取扱いを開始しました。アンケートにご回答いただくことで自社のSDGsへの取り組みを指標化し、客観的な強み・弱みを可視化できるサービスです。



# 業績ハイライト (2021年度中間期)

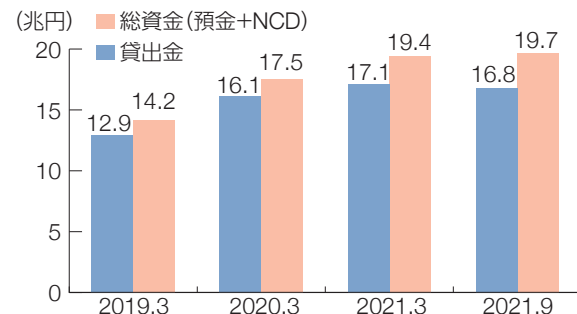
■福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行の3行合算の損益情報  
コア業務純益(3行合算)は前中間期比+93億円増加の480億円、親会社株主に帰属する中間純利益は同+17億円増加の279億円となりました。

## 業績推移



※ 負ののれん発生益を除く

## 預貸金未残(連結)



## 連結自己資本比率

